

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第3回上尾市図書館協議会	
開 催 日 時	令和元年11月11日（月）午後2時15分から午後4時20分まで	
開 催 場 所	上尾市図書館本館2階 集会室	
議長(委員長)氏名	代島常造	
出席者(委員)氏名	須賀聡、北川悦子、岸清俊、市河利之、佐々木智美、宮内礼子、代島常造、若松昭子、清水松代	
欠席者(委員)氏名	加藤寛子、藤波貢、城所典子、	
事務局(庶務担当)	島田館長、山内主幹、石川副主幹、内山主査、吉野主査、朝見主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	上尾市図書館の在り方検討について	別紙「議事の経過」のとおり
議 事 の 経 過	別紙「議事の経過」のとおり	傍聴者数 2名
会 議 資 料	上尾市図書館の在り方検討資料	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">令和元年12月3日署名済み</p> <p style="text-align: center;">議長（委員長）の署名 _____</p>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>議事 上尾市図書館の在り方検討について</p>
議長	上平地区複合施設について伺いたい。
事務局	<p>上平地区複合施設の経緯だが、昨年6月に新図書館複合施設の見直しが決定し、この土地の今後の活用として、市長から「図書館分館機能を有する複合施設を整備する」ということが示されている。</p> <p>跡地は7,000㎡程であり、現在、上平広場として利用を開始している。</p> <p>上平地区複合施設の検討は、上尾市行政経営部にて、識見を有する者など市民10名で組織される上平地区複合施設検討委員会が設置され、議論されている。</p> <p>現在の検討状況だが、7月に第1回委員会が開催され、「図書館分館機能を有する」について、図書館が検討している在り方との整合性や情報共有の必要性が議論されたと聞いている。</p> <p>分館機能については、在り方の方向性により、規模や備えるものが変わってくるものと認識しているが、上平地区複合施設の進捗を見据えて整理していく必要があると考えている。</p> <p>今後のスケジュールだが、今年度、複合施設の候補を選定し、令和2年度に基本構想、翌年に基本設計、その翌年に実施設計、早くて令和5年に工事着工となるが、議論を慎重に進めるとのことで若干遅れ気味とのことである。</p>
A委員	<p>7頁3①「図書館に対する印象」だが、「明るい」「静かな」「綺麗な」「快適な」とのイメージを持っている人が多い。「プラスのイメージを持つ市民がいるが、マイナスのイメージを持つ市民もいる」と、表現を変えたほうがよいと思う。</p> <p>3頁の「複写サービス」で、上平・原市・大谷が「×」になっているが、できない理由は何か。</p>
事務局	<p>複写サービスについては著作権が影響している。図書館は基本的に著作権の制限が解除されていて、ある一定の制限の範囲内でコピーができる。地図などがそうである。ただし、複写機については、図書館の管理下にあるもの、若しくは図書館の司書またはそれに準ずる者が管理していることが、コピーサービスの条件となっている。</p> <p>上平・原市・大谷については、図書館内に複写機は設置されていない。公民館には設置されているが、この複写機は図書館の管理下ではない。</p> <p>よって、図書館としての複写サービスができないのが現状である。</p>
議長	条件を満たせば現行でできるのか。
事務局	図書館で複写機を管理し、職員に準ずるスタッフが管理できる状況になれば、可能である。
議長	機材があればやる余地はあるのか。
事務局	そうである。
副委員長	<p>上平・原市・大谷は公民館図書室とのことだが、前回視察に行った時に、現在は公民館の図書室ではなく、図書館の管理する図書室との説明であった。</p> <p>図書館法では、公民館に設置してある図書室は対象外であるので、この3図書室が公民館図書室であるのならば、本来この場で議論するものではないとなっ</p>

	<p>まう。 図書館が公民館を借りて、そこに図書館を置かせてもらっているのであれば、分館・分室となり、図書館法の図書館となる。 その辺りを明確にしてもらえるとありがたい。</p>
事務局	<p>公民館図書室は社会教育法の観点からのものであり、本来は図書館条例で定めるものが図書館である。 現状条例で定めてはいないが、規則で定めて運用している。 よって、図書館法の定める図書館が設置する分館の扱いである。</p>
副委員長	<p>出発点は公民館の図書室であったが、現状は図書館が管理している分館とのか。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
副委員長	<p>コピー機を1台買えば、ここは「○」になるので、造作ないと思うが、見学に行った際、図書館の入口を出てすぐにコピー機があった。 このコピー機は図書館法で制約されるコピー機ではないので、現実ではサービスができていないとなっていると思う。 小さなコピー機1台置けば解決するのだが、現場から見ると、すぐ近くにコピー機が2台あるとなるのでためらってしまうのだと思う。 その辺り、補足説明を加えて分かるようにしてほしい。</p>
A委員	<p>8頁3⑧「市民の過半数が現行の本館・分館体制の継続を望んでいる」とあるが、実際は50.1%である。50.1%は過半数というより半数である。 まだ検討の余地は残っていて、分館・図書室といった体制をどうするのか考える必要がある。</p>
議長	<p>本を借りれば、公民館のコピー機でコピーは可能か。</p>
事務局	<p>著作権があるので、可能とは言えない。 著作権については重要な考え方になるので、慎重に対応していく。</p>
議長	<p>現状の図書館スタッフは条件を満たしているのか。</p>
事務局	<p>司書を持つ図書館スタッフは全館にいたので満たしている。 40%弱の図書館スタッフが司書の資格を持って運営している。</p>
B委員	<p>この会議はサービス面についての話し合いとのことで、6頁2(1)に「10年後を見据え」との文言があるが、現在の本館・分館をこのまま使用していく形で、という考えか。今後、新たに施設を建てて充実を図っていくという考えか。</p>
事務局	<p>将来のことなので変わることが前提だが、在り方の中でどのような方向性になるかによって、それに向けて図書館運営を進めていく、との考え方である。 現行の9館体制でいくのか、新たなものにしていくのか議論の最中である。</p>
B委員	<p>市民アンケートからでてきたいろいろな要望で、マイナス面をプラスに転じるサービスを提供していくとか、プラスを更にレベルアップさせてサービスを充実させるとの考えか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>

C委員	<p>コピーについてだが、15頁の「ニーズの高いIT設備の積極的な導入」により、スマートフォンで本を撮影して、速度の速い公衆無線LANで送信してしまうのはよいのか。電気通信法ではよくないと思うが。</p> <p>また、ARやVRなど双眼鏡を覗いて上を見たり下を見たりすると、例えば尾山台の遺跡全体が見渡せるようなことが実現できるはずで、そうすると速度の速い公衆無線LANが必要となるが、それをスマートフォンで利用することにより、全ページの写真を撮って瞬時に送ることができてしまうので、どこまで環境を整備すればよいか課題であると思う。</p>
事務局	<p>館内での撮影は禁止している。</p> <p>公衆無線LANは様々なリスクがあるので、IDパスワードを発行し、日によってIDパスワードを変えたり、フィルタリングを実施するなど、他館の例などを踏まえて導入を検討していきたい。</p>
事務局	<p>図書館内の環境で、パシャパシャと音とたてて、公然と撮影を行ってよいのかといった課題がある。</p>
B委員	<p>12頁4④の「生涯学習の拠点」だが、生涯学習はどのように捉えているのか。生涯学習とは、誕生してから生涯を閉じるまでの長いスパンの学習である。今後、子供や若い世代を対象とした場合、学校教育の課との連携は可能か。また、生涯学習課など他の課との連携、タイアップ、協力体制は可能か。</p>
議長	<p>図書館としての生涯学習の拠点ということか。</p> <p>公民館が行っていることをそっくり図書館が行うとのことではなく、図書館ならではの生涯学習はどういうことか、実際に連携が可能か、ということか。</p>
B委員	<p>図書館が独自で生涯学習の拠点として体制を作るか、それとも、他の課との連携や協力により進めるのか、どのようなビジョンを考えているのか。</p>
事務局	<p>中央教育審議会の答申の中に、今後図書館は社会教育の拠点のひとつとしてやっていったらどうか、と示されている。具体的な施策は今後の上尾市図書館の計画となるので、現状考えられていないが、上尾市としてそういった方向性で進めていくべきか、を提案している。</p> <p>進めるべきとのことであれば、今後具体的な施策を考えていく必要があるもので、そのような観点から議論してもらいたい。</p>
副委員長	<p>生涯学習は生まれてから亡くなるまでで、その間、学校生活や会社などがある。学校生活となると学校教育法の管轄となり、なかなかタイアップができないと思うが、その辺りを公共図書館として構想があれば、次に行政の方でどの課と連携して実現させようかとなるのではないかと。</p> <p>市民が声を出していかないといけないと思う。</p>
D委員	<p>公民館運営審議委員会ではそのような話はない。</p> <p>公民館は仲間がいてそこからの生涯学習的な広がりがあるが、こちらは「個」である気がする。例えば、公民館は物を作ったり、音楽をしたりグループ的なところがあるが、図書館は、本の作家を呼んで講演会を聞くとか、少し視点が違うと思う。</p>
議長	<p>図書館の生涯学習は、本やデータベースから提供される新たな情報をきっかけとして学んでいくというもので、公民館のように人が集まってサークルをする</p>

	<p>ような人中心ではなく、情報を介在させていくものである。</p> <p>今までは個人参加が主流であるが、これからは「交流」であり、例えば講演会に参加した人が、後半はお茶を飲みながらグループに分かれて座談をするなどがある。例えば、女性の創業支援では、違った業種の人と話し合いができ、交流により新たなビジネスチャンスが生まれてくるという効果が期待できる。</p> <p>ビジネス支援は商工会が行うので、図書館では行う必要がないのではと言われてしまうかもしれないが、図書館とはあくまでも、個人が何かやりたいとぼんやりと考えている人が来て、話を聞いて、自分のやりたいことを明確にしていくといった場である。その後、商工会など次のステップに相談していく。</p> <p>ぼやっとしたものを膨らまして育てていく、生涯学習の初期の段階が図書館である。図書館は誰でも無料で、ふらっと寄ることができ、公民館より敷居が低く、ひとりで来れる。</p> <p>図書館は本を借りたり読んだりするだけと思っている人が7、8割で、そういうところを打ち破っていく、新たなイメージを発信していかないと、まだまだ図書館は無料貸本屋とのイメージが残る。</p>
副委員長	<p>図書館では本を静かに読んで、借りて返すだけとのイメージがまだある。</p> <p>図書館で物を食べてはいけないということはないし、もっと何でもできる。ほとんどのことができるので、ひとつひとつやっていくことが大事である。</p> <p>この図書館自体が、本を借りたり読んだりするだけの場と思われていた時代に建てられた図書館である。昔は、受験生が勉強しに来るが図書館の資料を使わないのは問題だ、図書館の使命は資料提供であり重要なのは貸出しである、といった考え方のもとで閲覧席を少なくする時代であった。当時は、児童サービスの充実も課題だった。この図書館は閲覧スペースの割に児童スペースが広く、時代の最先端であった。</p> <p>時代が変わり、本を借りるだけでなく誰でも図書館にきてほしいとなってきたので、目に見えるような形でそれを具体化して発信していかないと、いつまでたっても住民の意識が変わらないと思う。</p>
E委員	<p>学校での図書室の利用だが、静かに活用するとのイメージで育ってきている。</p> <p>その後、図書館利用者となって、自分たちで求められるかというとなると難しいと思う。図書館から、生涯学習として使える拠点である、そういったものが提供できると情報発信してもらわないと伝わらない。</p>
副委員長	<p>レファレンスサービスも同じで、図書館はみんなの質問を待っているとアピールしないと、活発にならない。「レファレンス」という名称もわかりにくい。</p> <p>日本の図書館界は取り入れたときにそのまま使っているのだが、名前を変えながら、資料サービスのことやどんなことでも質問してくださいなど、もっと気軽にというのが大事な視点である。</p> <p>まずは来てもらうことが大事で、第一歩であると思う。</p>
議長	<p>レファレンスの話が出たが、現状、どういう職員がどのように対応をしているのか。</p>
事務局	<p>簡易なものは受付で対応しているが、時間の掛かる難しいものは職員が対応している。</p>
議長	<p>職員はレファレンスカウンターに座らないのか。</p>
事務局	<p>レファレンス席はあるが、常駐していない。</p>
A委員	<p>サービスを充実していくには、図書館側が意識的に展開していかないと駄目で</p>

	<p>ある。待っていたのではレファレンスはなかなか活発になっていかない。対応のマニュアルを作成し、責任体制を作り、積極的にやっていかないとイメージがあがっていかないと思う。</p>
議長	<p>本館、分館の職員の体制は。</p>
事務局	<p>貸し借りの受付は、実質、本館では委託の図書館スタッフが2階に9名ほど、1階に3名ほど、分館は3名から5名ほどである。 レファレンスの職員は、土日もあるが、少なくとも4名から5名常時いる。</p>
議長	<p>事務室の職員数と体制は。</p>
事務局	<p>正規職員は16名、管理担当と図書サービス担当の2グループである。 レファレンスは主に図書サービス担当が対応している。</p>
議長	<p>司書は。</p>
事務局	<p>本館では、正規職員2名、非常勤職員4名である。</p>
副委員長	<p>この図書館自体はサービスの多様化になっていないと思う。 今はいろいろなニーズがある。しかし、本館の子ども向けサービスは素晴らしいと思うが、他の世代へのサービスが見えてこない。 成人が社会や生活の中ででてくる課題を図書館で解決できるような体制をとってほしい。高齢化に対応した施設やソフトの提供も必要である。 現状は子供が中心で、他のサービスがおろそかになっている気がする。 10年先こうなっていってほしいではなく、現状から変えながら将来をみてほしい。</p>
議長	<p>ここでは施設を変えるか変えないかの議論ではなく、議論の結果、施設を変える必要があるかどうか市が判断していくとのことによいか。</p>
事務局	<p>そうである。図書館の在り方は、施設は次の段階で、まずは上尾市の図書館がどう在るべきか、どのようなサービスを展開していくのか、考え方を整理していくのが、今回の在り方の検討である。</p>
F委員	<p>みんながこの図書館に来たいと思うようにしないといけないと感じた。 高齢者と小さい子供が交わり何かができる場所があると、例えば、子供が来て高齢者に地域のことを教えてもらうなどの居場所ができると、正に生涯学習となり、市民の学び・活動に繋がっていくと思う。 今の子育て世代は、図書館は静かにする場所と思って育ってきていて、子供と来て静かにするようにしている。 図書館は本を読む場所で静かにするとの意識を変えて、集える場所があるとよいと思う。「図書館に遊びに行く」となっていきたい。</p>
B委員	<p>サードプレイスとしての図書館を目指すのであれば、図書館が主導して仕組み作りをしてくれるとうれしい。</p>
F委員	<p>近所の大人が図書館で本を読んでもくれる、そのような感じが大事であると思う。</p>
議長	<p>この図書館は入ってすぐの寒そうなところで高齢者が新聞を読んでいる。また、本来、階段横は開けておかないと防災上よくないが、机が並んでいて避難通路を塞いでいる。</p>

	<p>玄関は第一印象を決めるところなので、入ってすぐは綺麗で、その奥に全世代型の人たちがいられる場所、また、静かな場所があってよいが、話してよい場所、遊べる場所、性質の違う環境としてグレードが2段階、3段階に分かれているスペースがあるとよいと思う。</p> <p>武蔵野プレイスは、地下に卓球があって遊べるスペースがあり、上に図書館があり、複合施設の利点を生かした、集まりやすい設計となっている。</p> <p>全ての世代の人が行きたくくなるような、目に見える形にしてほしい。</p> <p>また、地域資料のレファレンスは長期にわたる勤務経験のある職員でないとできない。数年で異動する職員はお年寄りに敵わないので、長期にわたって有資格者が携われるような人事異動の流れを作らないと、レファレンスには対応できない。</p> <p>レファレンスは職員に懸かっているので、その辺りが充実に繋がってくる。</p>
D委員	<p>そうすると、結局施設面の話になってしまう。</p> <p>上平地区複合施設の検討が進んでいるとのことだが、話し合っていることが通じていないとよくないと思う。</p> <p>館長は上平地区複合施設の検討委員会に出席しているのか。</p>
事務局	出席していない。
D委員	<p>以前、新図書館複合施設の図面が出てきたとき、「ここに調理室があってもよいのでは。」「ここにピアノが置いてあってもよいのでは。」と思った。</p> <p>検討委員会をばらばらにやっていると前と同じであると思う。</p> <p>答申の内容については、これでよいと思う。</p> <p>本日、本館内を見学したが、2階の窓からは外が見えなかった。1階の窓からは外は見えるが、外の景色が見えるのはよい。</p> <p>施設を変えれば、暗いとかマイナスイメージを取り除き市民が来てくれる。</p> <p>ここをどうするのか方向性が決まったら、上尾のデザイナーや建築家に頼んでもよいと思う。</p> <p>上平地区複合施設の検討委員会に館長を入れるべきであると思う。別のものかもしれないが「話し合いがここまで進んでいます。」と、お互い認識できるのでよいと思う。</p>
議長	上平地区複合施設検討委員会とのやり取りは。
事務局	<p>まだである。</p> <p>上平地区複合施設検討委員会では、どの様な施設が入るかを検討しているところである。</p> <p>図書館は、分館そのものか、分館機能かはまだ決まっていないが、意見をいう段階に備えて、この会議で素材をもらい、検討委員会に持ち出すことは可能である。</p>
D委員	<p>分館が決まったら、アンケートをとったので、市民がこう考えていると館長からいうべきである。そうすれば、みんなが行きたくくなるような分館になり、他の分館もたちばな分館のようによくなっていく。</p> <p>本館は駐車場が少ないというが、2階3階にすればどうにかなる。</p> <p>地下の書庫から本を借り出せるなら、書架を減らし、違うスペースに大々的に変えてもよい。そうしないと、市民の要望に答えられないと思う。</p>
事務局	上平地区複合施設の話が出たが、機能として何を入れたらよいか、ダイレクトにアンケートはとっていないが、全体的なアンケートから得ることができた要望などを提案していく。

	<p>聞かれたときに事務局として持っていかないといけないので、どのような機能が必要か、分館そのものか、どれくらい図書館機能を残して、居心地のよい場所を複合施設の中でどうしたいかなど、提案はできる。</p> <p>委員から機能としてどのようなものを考えているか伺いたい。</p>
C委員	<p>小さな子供とお年寄りとの触れ合いは公民館事業と連携している。放課後児童教室や土曜日の教室など、「皆さん来てください。教えます。」といったイベントが多く、今意見があった「図書館をこうしたい」といった姿によく似ている。</p> <p>であれば、次年度は、公民館運営審議会と上平地区複合施設検討委員会と一緒に広大会議にした方がよいと思う。だが、行政的にそれができないので、公民館運営審議会から2名、社会教育委員から数名、上平地区複合施設検討委員会に参加しているのであると思う。</p>
A委員	<p>13頁の地域資料の関係だが、文化財担当部門で郷土資料や行政資料をかなり持っている。収集や保存を図書館が積極的に行った場合、資料は半永久的に残すものでありスペースの問題もあるので、文化財は文化財の立場で収集・保存を行い、図書館は提供を担っていけばよいと思うので検討してほしい。</p>
議長	<p>図書館のサービスにどのように繋げて提供していくのか。</p>
A委員	<p>文化財の文庫として位置付けてもらえばよい。</p>
議長	<p>外部書庫のようにか。</p>
A委員	<p>そうである。</p> <p>そのような形ができればよいと思うが、整理が大変なので一朝一夕にはいかないと思う。</p>
議長	<p>文化財資料そのものか。</p>
A委員	<p>文化財資料の一部である。</p> <p>図書館も郷土資料のどこまでの範囲かは考えていないと思う。</p>
事務局	<p>意見をもとに方向性を決めて位置付けすることにより、連携しやすくなる。</p> <p>図書館として、提供の立場で強化していくことはできる。</p> <p>貴重な意見として在り方に反映していきたい。</p> <p>これからの調整になるが出発点になると思う。</p>
副委員長	<p>「誰でもどの世代も来れる」とあるが、調べ物についても「どのレベルも」とのことで対応できないといけない。</p> <p>図書館で資料を使って勉強したい人もいるので、しっかりと応えられる体制を整えてほしい。</p> <p>本館は郷土資料が少なく、閲覧テーブルも4台しかない。上平の新図書館複合施設に郷土資料室が実現できる予定であったが見直しとなった。</p> <p>見直しになったから実現できないというのではなく、すぐにでも連携して、提供できるような形を整えてほしい。</p> <p>あらゆるニーズに対応できる、高度な勉強・調査ができるし、ラフなかたちで滞在しても楽しい、そのような図書館をつくってほしいと思う。</p>
B委員	<p>新図書館構想にはよい部分があったと思う。上平地区複合施設に盛り込めるものは検討してほしい。</p>

以上